

研究紀要の掲載に寄せて

平成 29 年度は、本県教育界にとって、大きな変動の年でありました。教員育成協議会の設置に始まり、校長育成指標及び教員育成指標の策定、教員研修計画の策定と、新たな課題に取り組んでいく中で、教員の資質能力の発揮・向上の必要性を否応なしに意識させられた、そのような 1 年であったかと思えます。同時に、教員の資質能力の向上こそが、子どもたちが未来の創り手として必要な資質・能力を確実に備えることができる学校教育の実現のための大切な要素であることは言うまでもありません。

今後社会の急激な変化が予想される中で、子どもたちが自らの人生をどのように切り拓いていくのか、そのために、どのような資質・能力を身に付け、社会とどう関わっていくのか、我々教職員は、常にこうした視点をもって教育活動に携わっていく必要があります。

本センターでは、未来の創り手となる子どもたちの姿を常に頭の中に描きながら、様々な分野の研究に取り組んできました。その取組は、新学習指導要領への対応から教育相談まで幅広く、多岐に渡ります。「研究から研修へ」を合い言葉に、所員が一丸となって、研究の成果を基盤とした研修や支援のよりよい在り方を模索し続けています。研究の成果に裏付けられた研修や支援を充実させ、それらを確実に提供していくことこそ、本センターの大きな使命を果たすことになると考えています。

本紀要には、本年度完結した研究の成果を中心にまとめました。その研究の成果を広く学校等へ発信するために、センターホームページ上に掲載しています。学校等が直面する課題の解決に向け、本センターの研究を役立てていただければ幸いです。

結びに、研究に際して、御協力をいただきました学校並びに関係教育機関の方々に厚く御礼申し上げます。

平成 30 年 3 月

静岡県総合教育センター
所 長 塩崎 克幸